

事業名 **こどもが元気! 市民活動支援 事業**

課題

地域の多様なニーズや課題の解決に向けて次代を担う元気なこどもを地域で育み、こどもの生きる力を大きく伸ばすことが重要

効果

こどもが、事業を通じて「生きる力」の基礎を身に付け、自立に向けたさまざまな体験を重ねることができます。

協働のパートナー

☆経費の形態☆委託

中央小学校区はぐくみネット協議会

地域に開かれた学校づくりを進め、子どもたちの「生きる力」をはぐくむとともに、学校・家庭・地域が一体となった総合的な教育力を発揮し、地域における人と人とのつながりによってこどもをはぐくむ「教育コミュニティ」づくりを推進しています。

中央区役所

「こどもが元気」な中央区をめざすとともに、行政と市民とで協働して地域課題に応える市民活動を推進しています。

事業の概要

(事業概要)：地域の小学校をお借りし、様々な運動や遊び、非常食を使用しての昼食や防災学習など行います。そこで、参加者(児童同士、児童と卒業生、児童と大人、ボランティア同士など)の人間関係の深化を通じて、地域コミュニティの再生や安定、防災意識の高まりなどに繋がります。また、参加児童が自分の成長に周囲の多くの大人が関わっていることを知るきっかけとなり、卒業後も地域に貢献し、生活していくことへの意識付けとなる事業を目指します。

(開催日時)：平成22年12月11日(土) 10時~16時

(開催場所)：大阪市立中央小学校運動場、並びに体育館

(参加者数)：計126名……児童74名、保護者33名、幼児16名(5班に班分け)

(スタッフ)：計46名……はぐくみネットスタッフ=13名、PTA・教職員ボランティア=10名、卒業生・学生ボランティア=5名、クリケットボランティア=15名、外部講師=3名





協働のパートナーとの出会い

☆中央区役所から！

中央区役所が公募で市民活動推進基金等助成事業の事業企画案を募集し、応募のあった事業の中から選定会議で選定しました。

プロセス

① 事業選定会議の設置	★選定会議はよりよい事業を選定するために、必要な知識をもった方で構成しました。	P
② 事業企画案募集	★広報紙やホームページ、チラシ等で募集しました。	
③ 事業の選定	★選定基準をできる限り明確にした上で、第一次審査は書類審査、第二次審査は担当者を交えて書類審査を行いました。	
④ 企画の協議・調整	 ◎対話のうえ、内容を明確にし、より効果的な事業になるよう両者で協議・調整しました。	D
⑤ 周知・参加よびかけ	★広報紙やホームページ、チラシ等で募集しました。	
⑥ 事業実施	☆随時振り返りを行った結果、参加者の意識の変化が見られました。	
⑦ 振り返り・報告会	 ◎ 3月に協働で成果発表・交流会を行い、成果や課題を共有できました。	CA

※役割分担：☆協働のパートナー ★大阪市 ◎両者

♡は、協働のポイントです。

協働で実施する理由！

地域で活動している「中央小学校区はぐくみネット協議会」と協働することにより、地域に密着した質の高いサービスが実施でき、地域コミュニティの活性化に効果的につなげていくことができます。

ここがよかった！ ～実践者の声～

- ・児童・保護者とボランティア間、ボランティア同士が顔見知りとなったことで、人間関係の深まりが感じられ、児童の登下校時など挨拶をかわす回数が増えました。
- ・保護者から子育て等の相談を受けることにも繋がりました。
- ・学生ボランティアは、ボランティア活動により興味がわいた様子で、今後も積極的にボランティア活動に参加したいとの感想が聞かれました。また、卒業後も小学校への関わりを持ち、地域社会への貢献への意識が芽生えた気がします。
- ・縦割り班分けをしたため、他学年児童の交流が見られました。
- ・防災クイズなどを持ち帰らせたので、帰宅後に保護者等と防災について話し合った様子が伺え、防災グッズ等の確認作業も行ったようで、防災意識の高まりが見られました。
- ・今後も同様の事業を継続し、出来るだけ多くの児童の参加を呼びかけ、地域コミュニティの活性化を図りたいと思います。また高学年児童の参加する事業も計画したいと思います。